

産業廃棄物処理業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	15～ 16	作業後、別棟にあるトイレで用を済ませて作業場所に戻る時に、足を滑らせて仰向けに転倒し、右手をついて右手首を骨折した。当時は凍結した地面に少量の雪が降り、滑りやすい状況だった。	47	30 ～ 49
1	17～ 18	荷下ろし作業中、物を取るためトラックから降りようとしたら、あおりに足が引っ掛かり転倒し、あおりに腹部を強打した。	46	—
1	11～ 12	粗大ごみの荷下ろし中、トラックの荷台に乗ろうとしたところ、鉄製の床が濡れていたため足を滑らせ、尾てい骨を強打した。	67	50 ～ 99
1	8～9	当日は、朝から気温が下がり、昨日の雪が残っており構内の路面が凍結状態であった。朝礼、終了後、休憩室から作業場へ移動中凍結している所に足を滑らせてしまい、尻もちをついた状態で転倒し、その際に支えた手（左手）を負傷した。	54	—
1	14～ 15	フォークリフトに乗る前に、運転者名の名札（車庫入口から1.8m先）を取りにフォークリフト置場の倉庫に入った。その時、フォークリフトと車庫の壁の間が狭く（45cm）、横向き（カニ歩き）で名札を取って倉庫から出るところで、左足が突起物（15mmの段差）に当たり、倒れこむときに右足で支えようとして、右足を捻った。	48	—
1	14～ 15	トラックに積んでいる段ボールを降ろす際、後ろのドアを開けようとしてつまずき、左膝を負傷した。	61	—
2	16～17	Fステージ脇ボックス片付け作業中、荷台で台木につまずいて、右足甲を骨折した。	24	50 ～

				99
2	13~14	作業場内において、廃棄物（一斗缶）をアリゲーターで潰した後、一斗缶をパレットに載せようとしたら、一斗缶の中に残っていた少量の油が地面にこぼれ、足を滑らせて転倒してしまった。	48	10 ～ 29
2	14~15	事務棟ゴミステーション前にて、産業廃棄物収集作業中、勾配のあるゴミステーション前で下り勾配側が右足、上り勾配側が左足で歩行中、緩い勾配ではあったが体勢を崩した。右足首を捻り、転倒しそうになり、負荷のかかる状態で左足を地面についた。その結果、左足アキレス腱が損傷した。	55	30 ～ 49
2	14~15	リサイクル工場内において、収集したビニールをフレコンバッグに入れる作業中、フレコンバッグ（ビニール共で重さ10kg）の紐を両手で持ち、後ろ向きで引っ張り移動していたところ足がもつれ後方に倒れ、尻もちをついた際に胸椎を負傷した。	63	30 ～ 49
3	14~15	構内のゴミ集積場より小走りで移動中、事務所前スロープ横の段差に左足のつま先を引っかけて体勢を崩し、前のめりに転倒し、左橈骨末端骨折を負った。	58	1～ 9
3	11~12	プラント工場内で、廃棄物である木材を運搬しているときに、作業場を歩いていて足を滑らせ、体を左で支えようとして指を骨折した。	69	10 ～ 29
4	10～ 11	ゴミステーションにおいて、一般廃棄物収集作業中、ゴミ庫からゴミ袋を4袋取り出し、右手に2袋、左手に2袋持ち、車に積み込もうとゴミ庫から振り返った時、高さ5～6cmの段差に足を取られ転倒し、背中から腰にかけて痛みが生じた。	67	30 ～ 49
4	9～ 10	路上にて、可燃ごみ回収作業に従事していた被災者が、ごみ回収中にカラスよけネットに足が引っかかり転倒し、左足を路面に打ちつけた。	63	10 ～ 29
4	15～ 16	8?コンテナにシートを掛けるため、荷物の整理をコンテナの上で行い移動したときに足を滑らせ転倒し、コンテナの淵（1.5mくらい）に左脇腹をぶつけた。	47	10 ～ 29
		工場内で最終残さラインへ移動する際、濡れている床面の上で転び、左足が滑って		10

4	7～8	足首を骨折した。	47	～ 29
4	13～ 14	当社工場のゴム破碎処理施設で、ステージの上部から手前にゴムを引き寄せる為にステージに上がり、コンベア側に寄せた後に足を踏みかえステージから降りる際、コンベア付近に足を掛けた時に足が滑り転倒し、脇腹を強打し骨折した。	39	50 ～ 99
5	13～ 14	廃プラスチック類破碎機作業中、破碎状況を見に下へ降りようと階段（3段式）の2段目に右足、1段目に左足を着いた瞬間に左足を滑らせ、右足を外側に捻った状態で転倒した。午前中の作業終了時に作業場が泥で汚れていたため水で流して清掃した際に靴底が濡れて、足を滑らせ転倒したと思われる。	49	30 ～ 49
5	10～ 11	振動スクリーン（停止中）の点検・清掃をするためにボール（15kg）を両手に持って歩行中、躓いて転倒した。手袋はしていたが指先をスクリーンで強打し肉が裂けた。	47	10 ～ 29
6	11～ 12	自社構内で廃棄物分割作業の休憩中、荷物に掛けていたシートに躓いて転んだ。	63	10 ～ 29
6	10～ 11	家庭用一般ごみの回収のため、パッカー車で市内巡回中、ごみをパッカー車へと投棄作業をしている際、体勢を崩して倒れそうになったので、咄嗟に右手を側溝の蓋（鉄製）の尖った一辺が浮き上がっていたところに着いてしまい負傷した。	15	30 ～ 49
6	16～ 17	会社場内にて、10t車トラックに装備してあるグラップルのメンテナンス中に、雨上がりだったため足を滑らせ転倒してしまい、左手首から地面に落下し、骨折してしまった。	62	1～ 9
7	16～17	ごみ搬入者が忘れ物（車荷台シートカバー）を取りに来た時、置き場所のプラットホーム内、旧第1ゲート前に案内中に足を滑らせ転倒し、負傷した。	54	1～ 9
7	11～12	4tトラックに、荷物を積み終わって、シートをする時、左側後ろのあおりに乗って左から右に移動中、右足を滑らせて、転倒した。	33	30 ～ 49
		整備工場内でミキサー車ドラム内のコンクリートの斫り作業中に、点検口（直径		30

7	11~12	43cm) からドラム外へ出て下りる際に、高さ35cmの木製の踏み台へ右足を乗せたところバランスを崩して転倒した。転倒時に右手を地面につき骨折した。	36	～ 49
7	14～ 15	工場敷地とガラスサンド置場の間に側溝があり、それを渡る際に足を掛け、足を滑らせて左足爪先を内側にこじらせ左足薬指を骨折した。ガラスサンド置場には一時的に置いた有価物を取りに行くためだった。その日は応急手当をして、次の日に病院に行って骨折が判明した。	67	10 ～ 29
7	10～ 11	車両から降りた際、足元の段差プレートに足を滑らせ転倒したところ、運転手が気づかずに車両を前進したため、タイヤが助手の右足に乗り上げて負傷した。	29	100 ～ 299
7	14～ 15	当社中間処理施設のプラント構内を歩行中、置いてあったアスファルトガラに気付かずに躓き、右足を負傷したものである。	46	30 ～ 49
9	12～ 13	当社中間処理場において収集した廃棄物を降ろす為にトラックから降りる際、右足がゴミの上に着地したので滑ってしまい、右足を外側へ挫いて骨折した。	33	50 ～ 99
9	18～ 19	作業終了後、帰宅する為、荷物（ヘルメット）をロッカーにしまいに行く際に転倒し肩を骨折した。	43	30 ～ 49
10	16～ 17	会社敷地内で、アルミ缶・スチール缶の選別、プレス作業後に片づけをしている際に、足を滑らせ転倒してしまい、とっさに左手をついた。その時はあまり痛みもなかったため、翌日は通常業務をしていたが、痛みと腫れがひどくなった。	50	10 ～ 29
10	8～9	出社しタイムカードを押してリフトの鍵を持ち、外へ出ようとした時に、事務所の外の段差につまずき身体のバランスを崩した際、左足を捻り右足等を負傷したものの。	50	1～ 9
10	8～9	幼稚園の前の道路のゴミ集積場所にて、ゴミ袋をいくつか持ち運ぶ際に、1つ落ちてそのゴミを踏んで転倒した。左膝を道路に打った。	68	1～ 9
		トラックの駐車場にてコンテナを交換したあと、シートを取ろうとして角材につま		10

10	6～7	ずき前のめりになり左足の膝を負傷した。	52	～ 29
10	14～ 15	工場内にて、産業廃棄物の仕分け作業中に、パイプにつまずいて転んで、右手首について骨折してしまった。	70	1～ 9
10	10～ 11	荷物を下ろすため、車を誘導中、誤って右足を道路の側溝に落とし、バランスを崩し、骨折したものである。	57	30 ～ 49
11	14～ 15	フレキシブルコンテナバッグ（大型布製バッグ以下フレコン）に空瓶を入れる為にフレコンを開いている作業中、開いたフレコンの紐に足が引っ掛かり転倒した。その際に左腕、肘を強打した。	32	10 ～ 29
11	9～ 10	ペットボトル処理施設内で、和式トイレで私用事が終わり、作業服（つなぎ）を着ようと左腕を通した際、バランスを崩し、便器の中に左手をついた瞬間、ツルっと手が滑り転倒し、左膝を便器の縁に強打した。	36	100 ～ 299
11	13～ 14	園児が片付けをし帰る為、保育室出入口で待っている時、1人の子の忘れ物が机にあることに気付いたので知らせる為、駆け寄ろうと右足を一步踏み出した。そこへ向かってくる子と当たりそうになったのを避けた際、右足つま先が床に引っ掛かり左前方へ転倒し負傷したものである。	54	50 ～ 99
12	11～12	当社敷地内において、お客様がいらしたのでお客様を案内した後、所定の作業場に戻ろうとして歩いていたところ、地面が雪で滑りやすくなっていたため、誤って転倒し、右足首を捻って負傷した。	57	10 ～ 29
12	7～8	室内でカゴ台車を整理し移動していたところ、床の所々が濡れており、濡れていた床の上に右足を踏み入れたところ、急に右足が滑り出し、姿勢を立て直そうとしたが左膝を床に強打してしまった。	55	1～ 9
12	11～12	事業所の施設内で8立方メートルサイズのコンテナに鉄くずを積み込む作業をしていた。積み込み作業後にコンテナの上にブルーシートを掛けるためにコンテナに上り、ブルーシートを掛けようとしたところ、コンテナからはみ出していたパイプ椅子の隙間に左足を取られてしまい転倒して左足がパイプ椅子の隙間に引っ掛かり	35	50 ～ 99

宙吊りになってしまい、その衝撃で左足ふくらはぎを負傷した。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html